日本化学会第89春季年会(2009) 緊急企画 ノーベル化学賞受賞記念シンポジウム

日 時: 平成21年3月28日(土)13:00-17:30

会 場: S2会場(日本大学理工学部船橋キャンパス13号館1326教室)

プログラム:

13:00-13:15 Introductory talk (予定)

下村 脩 上席特別研究員 (ウッズホール海洋生物学研究所)

生物発光

座長:上村 大輔

13:15-13:45 発光生物研究の原点と「ウミホタル発光研究」の新展開

近江谷 克裕 教授

(北海道大学大学院医学研究科先端医学講座)

13:45-14:15 下村博士との出会い、そして生物の光に魅了されて

寺西 克倫 教授

(三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻)

(休憩15分)

分子イメージング

座長:小澤 岳昌

14:30-15:00 New fluorescent probes and new perspectives in bioscience

宮脇 敦史 チームリーダー

(理化学研究所脳科学総合研究センター 細胞機能探索技術開発チーム)

15:00-15:30 可視化プローブのデザイン・合成による分子イメージング

菊地 和也 教授

(大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻・教授)

座長:横山 茂之

15:30-16:00 GFP再構成技術を用いた生体分子の可視化

小澤 岳昌 教授

(東京大学大学院理学系研究科化学専攻)

医薬関連

座長:寺前 紀夫

16:00-16:30 蛍光タンパク質によるmRNAスプライシングの可視化とその制御

萩原 正敏 教授

(東京医科歯科大学大学院疾患生命科学研究部)

座長:横山 茂之

16:30-17:00 創薬研究におけるGreen Fluorescence Protein (GFP)の利用

尾崎 諭司 ディレクター

(万有製薬(株)つくば研究所 薬理研究部)

座長:寺前 紀夫

17:00-17:30 蛍光タンパクが推し進めた基礎医学研究:遺伝子発現を観られる喜び

大隅 典子 教授

(東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター)